

単元名 「This is my town.」 (第5学年 話すこと【発表】)

■本事例のポイント

- 1 .Learning Sheetを用いて、Today's goal→My goal→Brush up→Reflectionの流れを毎時間作ることで、学習の目的と見通しをもって学びの自己調整を行うことを目指した。
- 2 .毎時間の紹介内容の動画を共有したことで、児童が他の児童の発表をいつでも確認でき、より詳しい内容や豊かな表現に近付けたり、自分が使いやすいシンキングツールを用いたりして、自ら学習を調整できるようにした。

■単元の目標

多忙なALTの弟に〇〇市でリフレッシュしてもらうために、〇〇市にあるものやそこでできることを紹介し、〇〇市の魅力が伝わるビデオレターを送ることができる。

■単元の指導計画（7時間）

第1時間

- ・〇〇市にある施設の名前やできることなどの言い方を知る。

第2～4時

- ・JTEの家族、クラスメイト、ALTと毎時間伝える相手を変えて、自分のお気に入りスポットや魅力などを伝える。

第5時

- ・5年1組「〇〇市リフレッシュ観光大使」を決める。

第6時

- ・おすすめスポットのポスターやパンフレットなどを書く。

第7時

- ・パフォーマンステストを行う。

■本時の概要

① Today's goal

Goalは児童と一緒に考えて設定する。その後、各自でMy goalを設定する。



子供が学習課題を選択・決定する場面

③ Let's watch

交流をし合っていない友達の動画を視聴する。



子供が学び方を選択・決定する場面の設定

② Let's speak

紹介①→Brush up①
→紹介②→Brush up②
→動画の撮影→動画の提出（エントリー）



子供が学び方を選択・決定する場面の設定

④ コンテストとReflection

「〇〇市リフレッシュ観光大使」を決め、選ばれた児童の何がよかつたのかをクラス全体で考え、次の学習につなげる。



子供が自らの学習を振り返る場面の設定

Brush up Timeの概要

- (1)これまでの動画で確認する。
- (2)友達と伝え合ってアドバイスをもらう。
- (3)先生たちに聞いてもらう。
- (4)発表メモをアップデートする。

中間指導では、紹介する時のポイントとして、話す順序や内容の詳しさ、ジェスチャー等を挙げました。

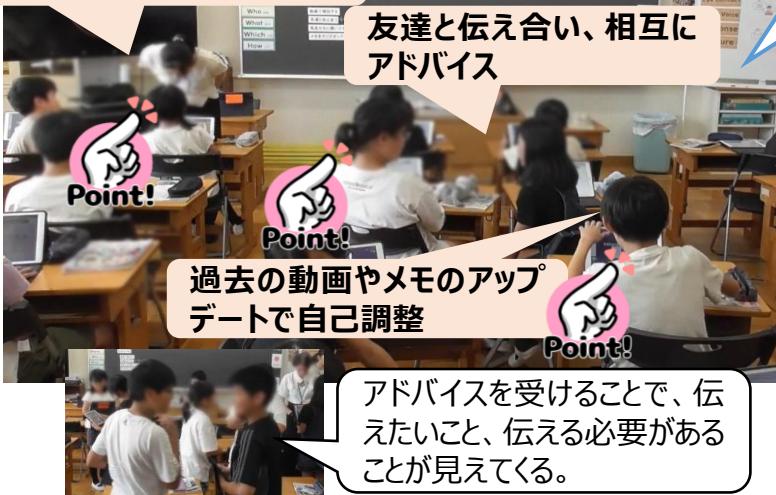


■学習調整をしている子供の姿



発表メモは、自分の使いやすいシンキングツールを選択し、必要に応じて内容を加除修正していく。

教師に伝えて課題を解決



アドバイスを受けることで、伝えたいこと、伝える必要があることが見えてくる。

■指導と評価の工夫

①発表動画や発表メモなどを、各自のタブレットで共有

- * 教師は、提出状況や学習進度を即座に確認し、指導に生かすことができる。
 - * 児童は、友達の考えを参考に学びを深めることができる。

② 中間指導

- * ALTからの適切なフィードバックによって何を改善すればよいかが分かる。
 - * 友達からどんなアドバイスをもらい、どんな内容を加えたか確認することで、自分の表現に生かすことができる。

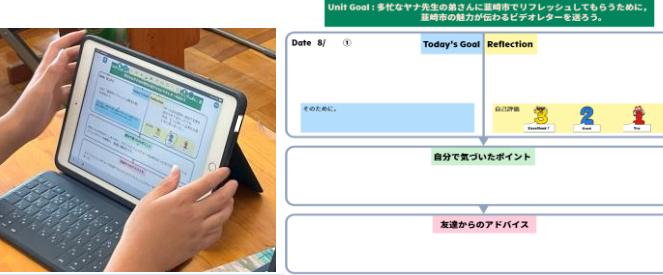


③Brush up Timeにおける個別・協働学習の導入

- *自分に合った学び方を選択できる。
 - *内容の整理や具体的な情報を追加することで、より豊かな表現になる。

④Learning Sheetとループリック評価シート

- * 目標と学び・課題の可視化と、指導と評価の
一体化ができる。



■成果（○）と課題（△）

- 毎時間の発表動画を蓄積したり、発表メモを更新したりすることで、どんな情報を加え、何に気を付けて伝えたらよいかなどが明確になったと同時に、自信をもって話す姿が見られるようになった。
 - 動画やラーニングシートなどを共有したこと、一人ひとりの児童が自分の課題に気付いたり、ブラッシュアップすべきものを考えたりすることができた。
 - ▲本時の相手と最終的に伝える相手と勘違いしてしまった児童が見受けられた。中間指導や動画撮影の際、授業全体を通してその都度確認しておくことで、相手意識をもって適切な言葉選びができると考えられる。